一般質問

議案以外の市政全般に関する質問を一般質問といいます。
14人の議員が行った一般質問のうち、主な質問と答弁の要旨を掲載しています。

改革ネット・自民

大泉 鉄之助 議員

◎施策遂行の停滞や行政執行の遅滞、業務進行の緩慢が甚だしく見受けられる。次の事業の進捗状況を伺う。
○新総合計画の策定
○東西線沿線のまちづくり
○都市計画道路網の見直し
○ガス事業の民営化
○エル・ソーラ仙台の見直し
○歴史的町名の復活
○水族館の誘致
○アンパンマンこどもミュージアムの誘致
○秋保幼稚園と馬場幼稚園の統合
○敬老乗車証の見直し

（仮称）動物公園駅周辺のまちづくりを検討する「八木山地区まちづくり研究会」

問 国道4号と国道48号について、国からの権限移譲協議が進んでいるとのことだが、今後の取り組みについて伺う。

答 権限移譲により、個性豊かなまちづくりを進めるための道路整備を自らの判断で行えること、各種申請窓口の一元化による市民サービスの向上といったメリットが考えられる。財源措置や移管時期などの課題はあるが、鋭意進めてまいりたい。

その他の主な質問項目
○博物館資料の収集等について
○借上げ市営住宅制度について

菅原 健 議員

◎地域資源を活かした経済活性化への取り組みが急務であるとの認識に立ち、以下伺う。
○中小企業支援による地域経済活性化について
○商店街の活性化について
・中心部商店街の評価
・空き店舗増加への対応
・地域商店街の活性化
○観光施策について
・観光を通じた地域づくり
・広域連携
○農業の活性化について
・担い手の育成確保
・耕作放棄地の有効活用策
・農商工連携事業

民主クラブ仙台

小野寺 健 議員

○経済対策とりわけ雇用対策は早急に。すぐできること、長いスパンで考えることを両にらみで効果的に展開を。
○父子家庭にも、児童扶養手当などの独自制度で対応を。
○育児中の親を孤立させず、子どもたちを虐待から守るために虐待の早期発見を。
○交通に関して地域ごとに住民の細かな要望を把握する仕組みを作り施策に反映を。
○人口減少・少子高齢化に対応するべく政策転換が必要。
○市民が行政と協働する意義
○公文書館設置に向けて

岡本 あき子 議員

問 基礎学力のみならず、子どもたちがおのおのの人生を歩むための学ぶ力、生き抜く力を根付かせる決意を伺う。

答 子どもたちが自立し実社会を逞しく生き抜けるよう、自分づくり教育、学校支援地域本部事業などに取り組む。

その他の主な質問項目
○市長は市民協働のまちづくりの重さを受け止めるべき
○新型インフル対策の検証
○新市立病院のアクセス向上
○子育て支援広場の連携充実
○せんだい保育室、保育ママを活用した待機児童解消を

きぼう

柳橋 邦彦 議員

問 横断的で弾力的な組織体制の構築や行政が積極的に市民の中に入る仕組みづくりと、「小さなインフラ」の地元発注で、明日に誇れる都市みんなの仙台の創造を。

答 「小さなインフラ」によるまちづくりは、地域経済の活性化に極めて重要であるので、各種の経済施策の推進に努力していく。

その他の主な質問項目
○市民協働による環境施策
○一次産業と三次産業の融合による施策
○近隣市町村との連携

庄司 俊充 議員

問 泉岳少年自然の家の改築に県産材をはじめ泉ヶ岳の森林材も活用すれば、公益的機能の重視や資源の循環利用などを学習でき、教育的効果も高まると思うがいかがか。

答 地域林業活性化等経済的効果に加え、地産地消を学べる等教育的効果が期待でき、具体的活用法を検討したい。

その他の主な質問項目
○緑のカーテン作りの普及を
○父子家庭に対しても、経済的支援のみならず、子育て支援等の全般的な支援を
○デジタル放送移行への対応

市民協働のまちづくりを支援する市民活動サポートセンター

公明党

小田島 久美子 議員

問 家庭で保育する世帯に対する「家庭保育奨励手当（仮称）」の創設を検討すべき。

答 厳しい財政状況からしいが、子育て世帯への支援のあり方を総合的に検討する。

その他の主な質問項目
○ひとり親家庭への支援
○保育所に通う子どもの弟・妹に対する入所支援と、申請書のダウンロードの整備
○がん検診の無料クーポン券配布時期と受診への配慮、受診料の負担軽減
○介護従事者の処遇改善
○在宅介護への支援の拡充

山口 津世子 議員

問 仙台の緑に関連し、終戦後生き返った東二番丁小学校の「くすの木」に希望を見た市民の緑に対する想いと、仙台市民、乳幼児や高齢者の健康づくりについて伺う。

答 すべての市民の現在、将来の幸福のための必要な施策を着実に実施していきたい。

その他の主な質問項目
○野草園に年間パスポートを
○サル・イノシシ被害対策を
○県道仙台山寺線の歩道設置
○ハト被害対策のあり方
○高齢者の肺炎球菌と乳幼児のヒブ（注1）ワクチン接種の助成

緑のカーテン作りに取り組む北六番丁小学校（青葉区）

東二番丁小学校（青葉区）の校木「くすの木」

日本共産党

すげの 直子 議員

問 国に父子家庭への児童扶養手当支給を働きかけ市独自に経済的支援を早くすべき。

答 今年度予定している「ひとり親家庭等安心生活プラン」の改定の中で検討したい。

問 母子父子家庭等医療費助成制度は窓口で医療費を支払わない現物給付にすべき。

答 様々な問題があり難しい状況だが、県と意見交換して、強く要望してまいりたい。

その他の主な質問項目
○学びたい子どものため市独自で給付制の奨学金制度を
○生活保護の母子加算復活を

嵯峨 サダ子 議員

問 児童虐待を防止するために、母子保健の分野で保健師の役割が重要。母と子の生命を守る大切な職務を担う保健師を思い切って増やすべき。

答 児童虐待は重要な課題であり業務の実情に沿う適正な職員体制の構築に努めたい。

問 児童相談所の職員が誇りと情熱を持って仕事ができるように、児童福祉司を増やすべき。また、一時保護所の定員増と施設の拡充をすべき。

答 業務実態に応じ人員の拡充を図るとともに保護児童の処遇方法等を研究している。

児童相談の専門機関として役割を担っている児童相談所（青葉区）

社民党

石川 建治 議員

問 商店街の活性化に本気で取り組む人材の発掘・育成に力を入れるべきではないか。

答 商店街の若手リーダーなどを対象とした勉強会を開催し、次代を担う人材の育成に取り組むこととしている。

問 「楽しみ・憩う商店街」に向けたソフト事業の充実を。

答 きめ細かな商店街支援に努め、魅力ある商店街形成のため努力をしていく。

その他の主な質問項目
○商店街の活性化・振興策の現状と今後の取り組み
○梅原市長のタクシー券問題

大槻 正俊 議員

問 八木山松並木の保存を。

答 保存樹木の指定に向けて、所有者の意向を聞きながら、樹木の健全度などについて調査を進めている。

その他の主な質問項目
○空き家・高齢者世帯などの伸び放題の樹木への対策
○仙台市市体育館の修繕促進
○西多賀市民センターなど老朽化施設の建て替え促進
○児童館建設を計画どおりに
○歴史的な建造物の保存活用
○「重力ピエロ」をきっかけに映像によるまちづくりを

保存が求められる八木山松並木（太白区）

無所属

渡辺 博 議員

○市長は仙台市職員の代表ではなく、市民の代表であるという認識を持つことの大事さについて
○政策形成過程での市民参加と透明化の必要性について
○仙台市が事業を起こすにあたっては、ビジョンを示し、できるだけ具体的な提案をすると同時に、行政側が持っている情報を惜しみなく公開し、十分な説明をすることの大切さについて
○行政横断的な組織の必要性と総合的に取り組む必要性について

うるおいのある街　仙台駅東地区

常任委員会 審議の概要

平成21年6月22日開催

総務財政委員会

付託された議案番号（第80号）
政策調整局・総務局・財政局・消防局その他を所管
委員長 橋本 啓一 副委員長 小野寺 健

〈付託議案審査〉
付託された議案は、賛成多数で、原案のとおり可決すべきものと決した。

問 地下鉄東西線事業に対して国からの補助金を受け取る際に、一般会計からかなりの金額を積み増している。前年度からの繰り越し等も加えると、現在三百七十二億円弱の事業費となっているが、実際に使い切れるのか。

答 国の経済対策もあり、国庫補助が想定より前倒しで早く確保できている状況である。着実に事業の進ちょくを図り、予定の時期の開業を迎えるための、必要な予算措置と考えている。

〈その他の質問項目〉
○地元企業にお金が流れる仕組みづくりとその検証を
○資金調達と電力調達のあり方について
○市長のタクシーチケット代金の追加返還について

建設中の地下鉄東西線

市民教育委員会

付託された議案番号（第80・87～88号）
企画市民局・教育委員会を所管
委員長 菊地 昭一 副委員長 加藤 和彦

〈付託議案審査〉
付託された三議案は、すべて全会一致で原案のとおり可決すべきものと決した。

問 消費生活センターにおいて、潜在的な多重債務者の掘り起こしは十分ではないと思う。市民が立ち寄るところにチラシやポスターを置く等窓口での周知の仕方に工夫が必要だが、いかがか。

答 今回の補正予算で、多重債務者対策の啓発リーフレットの作成やラジオ放送等を利用したPRの経費を計上した。相談窓口の周知は非常に重要であると認識しているので、リーフレットの配置先の拡大等、さらなる周知を図るため工夫してまいりたい。

〈企画市民局からの報告〉
○仙台サンプラザ運営事業予定者の決定について

〈その他の質問事項〉
○市制百二十周年・区制二十周年について

多重債務の相談件数が増加している消費生活センター

健康福祉委員会

付託された議案番号（第84～89号・議第3号）※付託された請願番号（第2号）
健康福祉局・子供未来局・市立病院を所管
委員長 山口 津世子 副委員長 菅原 健

〈付託議案審査〉
付託された二議案のうち、第八十四号・八十九号議案は全会一致で原案のとおり可決すべきものと決し、議第三号は賛成少数で否決すべきものと決した。

問 子育てふれあいプラザ長町南の賃料の根拠について伺う。

答 商業施設の賃料をベースとしているが、公共施設であることを踏まえ、交渉を続け、商業施設と比較し、大幅に減額した金額となっている。

問 長町南に設置する子育てふれあいプラザは、もっと広い面積を確保すべきだったと思うが、今後設置する子育て支援施設は、面積等を十分勘案して施設規模を決定していただきたいが、いかがか。

答 今後設置する施設は、面積を含めて十分計画を練り、対応していきたい。

三館体制が期待される子育てふれあいプラザ（写真は子育てふれあいプラザ泉中央）

経済環境委員会

付託された議案番号（第80号）
環境局・経済局・農業委員会を所管
委員長 佐藤 わか子 副委員長 跡部 薫

〈付託議案審査〉
付託された議案は、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決した。

〈経済局からの報告〉
○「平成二十一年度仙台市産業活性化行動計画」について

〈その他の質問事項〉

問 不法投棄について、どのような対策をとっているか。

答 不法投棄再発防止には、投棄した人を特定し指導するのが効果的であるため、警察OBからなるGメンによる巡回パトロールの実施や監視カメラ設置で対応している。

問 JT跡地に出店するショッピングセンターは、市民サービス型商業施設なのか。

答 当該地区計画では、日常生活に必要なサービス施設を主体とした土地利用を誘導する方針となっており、これに沿ったものと認識している。

JT仙台工場跡地開発後の完成イメージ図

公営企業委員会

付託された議案番号（第83号）
水道局・交通局・ガス局を所管
委員長 斎藤 範夫 副委員長 横田 匡人

〈付託議案審査〉
付託された議案は、賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決した。

問 東西線工事の全体事業費や後年度負担の額の見通しが説明されなければ、市民は納得できないのではないか。

答 今現在、確定的な将来推計はできないが、どのような形で公表できるか考えたい。

〈交通局からの報告〉
○「国に対する要望」（地下鉄東西線整備事業の推進）

問 公共交通軸を中心とした機能集約型都市の形成は、地下鉄だけで満たされるわけではない。バス路線の再編整備も必要で、バス事業の厳しい経営環境も考慮し、バス事業に対する国の支援も求めていくべきだが、いかがか。

答 バス事業の支援についても、様々な場面で、国に求めていきたい。

地下鉄東西線の建設工事現場

都市整備建設委員会

付託された議案番号（第80～82・85～86・90号）
都市整備局・建設局を所管
委員長 庄司 俊充 副委員長 嶋中 貴志

〈付託議案審査〉
付託された六議案は、すべて全会一致で原案のとおり可決すべきものと決した。

問 あすと長町東部地区計画の沿道商業地区や、あすと長町西部地区の沿道商業業務A地区、同B地区において、その目的や趣旨と違った開発行為がなされるような心配はないのか伺う。

答 あすと長町については、地区の特性に応じたきめ細かい施設の誘導をするために地区計画という手法をとっているものである。例えば、商業施設あるいは住宅そのものという主たる建築物の用途で規制をする明確な用途規制となっており、問題はないと考えている。

〈都市整備局からの報告〉
○仙台市民間建築物吹付アスベスト除去等補助事業の拡充について

開発が進む「あすと長町」地区

委員会に付託された議案番号を、各常任委員会名の下にまとめて記載しています。また、各議案名については、最終面の会派別議案等賛否一覧表をご覧ください。

用語解説

本文中に青文字で表記した用語を解説しています。

●スクールニューディール構想（注1）（三面三段）
学校における耐震化の早期推進、太陽光発電などのエコ改修、ICT（情報通信技術）環境の整備等を一体的に推進することとした構想。本年四月にとりまとめられた「経済危機対策」で政府が提唱し、補正予算が組まれた。

●自分づくり教育（注2）（四面三段）
小学生から高校生までの発達段階に応じて、職業人の話を聞き、職場体験を経験することなどを通して、大人の本気や実社会で必要な心構えに触れることにより、生き方や職業観等について学ばせ、将来の社会的な自立を目指す教育。

●ヒブワクチン（注3）（四面五段）
インフルエンザ菌b型による感染症を防ぐワクチン。この菌は、乳幼児に髄膜炎や肺炎など重い症状をもたらすことがあり、特に髄膜炎では、発育障害などの後遺症が発生したり死亡する場合もある。

●コージェネレーションシステム（注4）（六面四段）
発電機で電気をつくるときに発生する排熱を同時に利用して給湯や冷暖房、工場の熱源などに使用する省エネルギーシステム。ガスや石油燃料などが本来持っているエネルギーを「電気」と「熱」として有効に使うことができる。

●ローカルエコポイント（注5）（六面五段）
省エネ型製品を買った人やレジ袋を辞退した人にエコポイントを発行し、次回の買い物で値引きに使ったり、サービスを受けられるようにするシステムです。温室効果ガス削減を進めるために各地で実施されている。